

令和6年度  
教員研修大会

大会テーマ

「こどもたちの未来（あす）へつなぐ

質の高い幼児教育を」

令和6年7月30日(火)

会場 幕張メッセ 国際会議場

主催 一般社団法人全千葉県私立幼稚園連合会

## 基調講演・分科会一覧

	基調講演・分科会テーマ	俯瞰図	講師	備考（準備品・服装など）
基調	これからの乳幼児教育 ～遊びで育つ子どもの力～	C3	北野 幸子 先生 (神戸大学大学院教授)	【事前準備等】なし
1	子どもの「やりたい！」から始まる学び ～失敗を自信の根に～	C2	久保 健太 先生 (大妻女子大学専任講師)	【事前準備等】なし
2	幼児教育の質を高めるチームづくり	B6	矢藤 誠慈郎 先生 (和洋女子大学教授)	【事前準備等】なし
3	気になる子がいるクラスへの支援	D3	守 巧 先生 (こども教育宝仙大学教授)	【事前準備等】なし
4	就学前の絵本の大切さについて改めて考える ～絵本の選び方・与え方・図書コーナーの作り方～	E2	伊藤 明美 先生 (元浦安市立中央図書館司書)	【事前準備等】なし
5	幼児の多様な「育つ力」を支える豊かな環境づくりについて考える	E4	永井 理恵子 先生 (帝京短期大学教授)	【事前準備等】なし
6	こどもの発達や学びをみんなでつなごう ～幼小連携・接続～	F1	河合 優子 先生 (聖徳大学大学院・教育学部教授)	【事前準備等】幼稚園教育要領解説 (文部科学省・フレーベル館)
7	私立幼稚園の次の時代につなげる園経営		経営研究委員会	【事前準備等】
8	幼稚園・認定こども園における現状の課題と今後の動向について	C3	石田 明義 先生 (全日本私立幼稚園連合会 認定こども園委員会副委員長)	【事前準備等】なし

これからの乳幼児教育  
～遊びで育つ子どもの力～

講師：北野 幸子 先生  
神戸大学大学院教授

こどもまんなか社会の実現をめざし、こども家庭庁が創設されました。子どもの権利条約と日本国憲法の精神にのっとり、誕生からのすべての子どもの権利保障とウェルビーイングがめざされています。保育者は乳幼児の教育の専門家であり、この時期こそに大切なことを踏まえ、子どもの権利を守って、その育ちを支えています。

本講演では、要領等がしめす保育者の専門性として、情緒の安定をはかることや、幼児の主體的な活動を促すこと、乳幼児期の育ちと学びを、遊びを通して総合的な援助により乳幼児の育ちと学びを支えること、一人ひとりの特性に応じた援助を行うこと等を確認したいと思います。特に、自発的な活動としての遊びとは何か、また、その援助を行う保育者の専門性の独自性と重要性とはどのようなものか、さらには保育の質が子どものウェルビーイングの具現化にいかに関係しているか、について具体的な実践研究データを紹介しながら、講じます。

本講話を通じて、保育者がいかに独自の専門性と崇高な志をもって、乳幼児の人権を擁護し、そのウェルビーイングを支えているのかを確認し、保育の仕事に自負と誇りを抱いて欲しいと願っています。

<プロフィール>

北野 幸子 (きたの さちこ)

学位(専門) : 博士(教育学)

資格・肩書き : 神戸大学大学院人間発達環境学研究科 教授

最終学歴 : 広島大学大学院教育学研究科 単位修得満期退学

専門 : 乳幼児教育学・保育学

略歴 : 広島国際大学、福岡教育大学を経て現職

現在の活動 : 神戸大学大学院人間発達環境学研究科・教授

主な著書 : 『地域発・実践現場から考えるこれからの保育 一質の維持・向上を目指して』(わかば社)

## 第1分科会

### 子どもの「やりたい！」から始まる学び ～失敗を自信の根に～

講師：久保 健太 先生  
大妻女子大学専任講師

提案園： 岩木幼稚園（野田地区）  
湖北白ばら幼稚園（我孫子地区）

---

私たちは、子ども一人ひとりの「学び」を大事にしたいと思っています。

ですので、子どもと自然との出会いを大事にしたり、子どもどうしのかかわりを大事にしたり、子どもが自分で試行錯誤したりすることを大事にしています。

しかし、「子どもと自然との出会いが、どうして学びなんですか？」と聞かれても、それに答えるのは、なかなか難しい。「自然に触れることで、知識が増えるんですよ」と答えてみたところで、「私って、知識を増やしたくて、自然との出会いを大事にしているのかしら」とモヤっとする。

また、「子どもが自分で試行錯誤するよりも、先生が、正しいやり方を教えてあげた方がいいんじゃないですか？」と言われると、「たしかにそうなんだけど、必死になって考えている子どもの姿って大事な気がするんだよね」と言いたくなる（けど、それをうまく言えない）。

というわけで、私たちの分科会（フォーラム）では、「学び」って何だろう？ということ、あらためて考えます。「子どもと自然との出会い」「子どもどうしのかかわり」「子ども自身による試行錯誤」。そうした姿を紹介しながら、「学び」とは何かを、参加者のみなさんと一緒に考えたいと思います。

#### <プロフィール>

久保 健太（くぼ けんた）

資格・肩書き：大妻女子大学家政学部児童学科児童学専攻 専任講師

最終学歴：東京大学大学院教育学研究科博士課程 単位取得退学

専門：教育哲学

現在の活動：大妻女子大学（東京都）で教鞭をとりながら、桐朋幼稚園（東京都）で共同研究を続け、大日向小中学校（長野県）の理事を務める

主な著書：『生命（いのち）と学びの保育哲学—育児と保育・教育をつなぐ—』（北大路書房）  
『写真と動画でわかる！「主体性」から理解する子どもの発達』（中央法規）他

## 第2分科会

### 幼児教育の質を高めるチームづくり

講師：矢藤 誠慈郎 先生  
和洋女子大学教授

---

小学校教育との接続がより注目され、幼児教育の質の向上が一層目指される中で、不適切な保育や園における事故への注目が高まるなど、幼児期の教育に求められる課題は多岐にわたっており、教師個人での努力では対応することが困難です。

こどもの最善の利益を尊重し、その育ちをより良いものにしていくために、個々の教師が成長するだけでなく、教師同士が学び合い、高め合い、支え合って保育の質を高めるチームとして園が組織として育っていくことが大切な時代です。

この分科会では、教師の専門性の特質、幼児教育のあり方や質、園内研修のあり方、園組織における同僚性などの話題を通して、教育学、経営学、組織論などの知見を講義で共有しながら、また参加者間で各園の工夫などを共有しながら、誰でもどの園でも明日から取り組むことができるささやかな工夫についてのヒントを見つけていきます。

<プロフィール>

矢藤 誠慈郎（やとう せいじろう）

学位（専門）：修士（教育学）

資格・肩書き：和洋女子大学人文学部こども発達学科 教授

最終学歴：広島大学大学院教育学研究科博士課程後期

専門：教育学・保育学

略歴：岡山短期大学、新見公立短期大学、ニューヨーク州立大学(客員研究員)、愛知東邦大学、岡崎女子大学を経て現職

現在の活動：日本保育学会評議員、日本保育者養成教育学会理事、全国保育士養成協議会常務理事等

主な著書：『保育の質を高めるチームづくり』（わかば社）

気になる子がいるクラスへの支援

講師：守 巧 先生  
こども教育宝仙大学教授

「気になる子」と「クラス運営」を考える時、気になる子にどう対応すればクラス運営が上手くいくかと考えていないだろうか。その結果、「気になる子」をクラスへ適合させることに心を砕き、一人、疲弊をしてしまっていないだろうか。この分科会では、問題とされる行動を整理し、個別的な支援内容の他に、全体として指導すべき点や他児のかかわり方を加えることで、支援対象者だけを変えて行いく保育から、クラス全体が変わっていく保育づくりを学んでいく。

新人教師には子どもに寄り添った対応の考え方、ベテラン教師には固定観念の見直し、管理者には教師を一人にさせないシステムづくり等、「気になる子」の保育に教師陣がチームとして関わり、他児を含めたクラスの環境を適切に構築させるための様々な立場からの保育を考えていく。

<プロフィール>

守 巧 (もり たくみ)

学位(専門)：修士(人間福祉学)

資格・肩書き：こども教育宝仙大学こども教育学部 教授

最終学歴：聖学院大学大学院人間福祉学研究科 修了

専門：幼児教育学・保育学・特別支援教育学

略歴：幼稚園教諭としてクラス担任等を経て、2014年より東京家政大学講師、2020年よりこども教育宝仙大学教授となり、教育者の養成を行う。

現在の活動：埼玉県狭山市就学支援委員会委員、狭山市巡回相談員として現場の教員と共に活動し、公益財団法人幼少年教育研究所「気になる子ども」の保育研究部会会長として、障害児保育の推進、保育の質の向上等の課題に取り組む活動も行っている。講師としても各地で多くの研修会を担当している。

主な著書：『気になる子とともに育つクラス運営・保育のポイント』  
『気になる子”の気になる保護者』  
『気になる子の保育「伝わる言葉」「伝わらない言葉」  
—保育者が身につけたい配慮とコミュニケーション』  
など保育に活かすための著書を多数執筆。

## 第4分科会

### 就学前の絵本の大切さについて改めて考える ～絵本の選び方・与え方・図書コーナーの作り方～

講師：伊藤 明美 先生  
元浦安市立中央図書館司書

---

小学校入学前の読書（読み聞かせ）時間が多い子どもは、中学生まで読書時間が長い、という調査があります。就学前に読み聞かせを楽しむ習慣をつけることが大切です。

しかし、現在はたくさんの絵本が出版され、選ぶのに迷うこともあるのではないのでしょうか。また、保護者からアドバイスを求められることもあるのではないのでしょうか。

この分科会では、改めて、園の読み聞かせに何を選んだら良いか？これまでのやり方で良いのか？考えましょう。

#### <プロフィール>

伊藤 明美 (いとう あけみ)

学位（専門）：社会デザイン学修士（MBA）

資格・肩書き：元浦安市立中央図書館 司書  
千葉大学 非常勤講師

略歴：千葉県浦安市立中央図書館に司書として33年間勤務。朝日新聞「子どもの本棚」書評委員、NPOブックスタート第一回絵本選定委員、東京書籍中学国語教科書編集委員を歴任。

現在の活動：千葉大学・日本女子大学・白百合女子大学・清泉女子大学・山梨英和大学非常勤講師  
社会福祉法人芳雄会図書顧問・司書、小澤昔ばなし大学語り講師、  
絵本専門士養成講座講師。  
筑波大学大学院図書館情報メディア研究科 博士後期課程在学中。  
現在も小学校・保育園・学童保育クラブなどで読み聞かせ・ストーリーテリングを続ける。

主な著書：『先生が本（おはなし）なんだね』（小澤昔ばなし研究所）  
『児童サービス論』（共著 日本図書館協会）  
『知っておきたい図書館の仕事』（共著 LIU）  
『がまとうさぎのもちあらい』（再話 くもん出版）

## 第5分科会

### 幼児の多様な「育つ力」を支える豊かな環境づくりについて考える

講師：永井 理恵子 先生  
帝京短期大学教授

現行「幼稚園教育要領」は「第1章 総則」の冒頭において「幼稚園教育は（中略）環境を通して行うものである」と示していますが、これは平成元年に改訂されて以来ずっと表記されています。この意味について改めて、幼稚園教育の原点であるフレーベルの理論によって再検討したのち、幼稚園教育場面における多様な環境設定の在り方を、幾つかの具体的場面を想定しながら考えます。必要に応じて写真によって場面を紹介し、具体的なイメージを膨らませたうえでグループに分かれ、各園の現状を提示し、想定される新たな環境設定の在り方について考えます。

ひとことで環境と言っても様々なものがあります。例えば、自然環境としての大自然（海、川、雨や風などの天候など）、動物、植物、物的環境としての園舎・園庭、児童文化財（玩具や絵本など）、表現活動のための道具や材料、室内環境設定、生活環境材など多様なものが挙げられます。今回の分科会では、多様な環境について、実際に導入したり変更できる点を発見するのみならず、実現するには困難を伴うであろうけれども描いてみたい夢の環境などについても意見交換し、新たな可能性を探る場にもしたいと考えています。

#### <プロフィール>

永井 理恵子（ながい りえこ）

学位（専門）：博士（教育学）

資格・肩書き：帝京短期大学こども教育学科 教授 学科長

最終学歴：東京大学大学院教育学研究科博士後期課程 修了

専門：近代幼稚園教育実践史、こどもの環境

略歴：大学院在学中、私立幼稚園非常勤教諭として約10年、勤務。大学院修了後、三重大学（助教授）聖学院大学（准教授を経て教授）、川村学園女子大学（教授、学科長）を歴任。

現在の活動：幼児の成長を援助する環境について、園舎・園庭を基本に、自然環境（動植物ほか）や児童文化財などと幼児との関係を研究中。3つの学校法人の評議員を務める。

主な著書：『近代日本幼稚園建築史研究－教育実践を支えた園舎と地域－』（学文社、単著）ほか

こどもの発達や学びをみんなでつなごう  
～幼小連携・接続～

講師：河合 優子 先生  
聖徳大学大学院・教育学部教授

変化が急速で予測が困難な時代において、これから生きる子どもたちには様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決したり新たな価値を見出したりしていく力が重要だと言われています。こうした力の基盤につながる場面は、各園の実践の中で見られていることと思います。幼児期の教育で育まれた力を小学校以降の教育につなげていくことが強く求められています。

幼児期の教育と小学校教育（以下幼小とします）の接続は、現行の幼稚園教育要領等で一層充実が図られ、取り組みが進みつつあります。本分科会では、幼小連携・接続及び架け橋プログラムの考え方などを改めて確認します。

また、接続の推進で重要なのは、小学校等他校種との連携のみならず、幼稚園における教育の充実を図り、子どもたちが夢中になって遊び、遊びを通して豊かに学べるようにすることです。そのためには、幼稚園教育の基本である「環境を通して行う教育」の具現化が大切。このことについても皆さんで確認していきましょう。

いずれの視点も、講義で理論や考え方を確認するとともに、実践の場面を通して具体的に考えるワークも行う予定です。ご参会のみなさまと実践を語り、みんなでこどもの発達や学びをつないでいく一歩になる、そんな研修にしていきたいと思います。

【準備物】

- ・幼稚園教育要領解説（文部科学省・フレーベル館）

<プロフィール>

河合 優子（かわい ゆうこ）

学位（専門）：修士（教職）

資格・肩書き：聖徳大学大学院・教育学部 教授

最終学歴：聖徳大学大学院教職研究科教職実践専攻

専門：幼児教育

略歴：東京都公立幼稚園教諭、東京都教育庁指導部指導主事、東京都公立幼稚園園長、  
文部科学省幼児教育調査官

現在の活動：聖徳大学及び同大学院において保育者養成に従事  
自治体及び団体ならびに幼児教育施設における研修講師等

主な著書：教育課程論（光生館）

保育内容「言葉」（ミネルヴァ書房）

0～6歳児「豊かな人間関係をつくる」保育（東洋館出版）

私立幼稚園の次の時代につなげる園経営

経営研究委員会

---

詳細は、改めてご案内いたします。

## 第8分科会

### 幼稚園・認定こども園における現状の課題と今後の動向について

講師：石田 明義 先生

全日本私立幼稚園連合会 認定こども園委員会 副委員長

---

子ども・子育て支援新制度がスタートしてすでに10年目を迎えています。この制度によって私たちの幼稚園を取り巻く環境は大きく変化してきました。時代のニーズに対応するために創設された新制度は、園経営の向上を図るだけでなく、より複雑化し様々な課題と直面する現状でもあります。

本分科会では、子ども子育て支援新制度・幼稚園・認定こども園における現状の課題と今後の動向について、最新の情報を基に、諸課題への解決策と展望、これからの園経営の在り方について探っていきたいと思います。

#### <プロフィール>

石田 明義 (いしだ あきよし)

資格・肩書き：全日本私立幼稚園連合会 認定こども園委員会 副委員長  
(一社)新潟県私立幼稚園・認定こども園協会 副理事長  
学校法人マハヤナ学園 理事長  
学校法人マハヤナ幼稚園ミルフィューユ保育園 園長  
上越市私立幼稚園・認定こども園連盟 会長  
上越教育大学附属幼稚園 学校評議員